

昭和51年度 和歌山県文化奨励賞

あらた の きよ こ
畚 野 清 子

住 所：和歌山県伊都郡高野町

出 身 地：和歌山県

生 年：明治44年

◎業績及び経歴

昭和7年大阪樟蔭女子専門学校国文科を卒業後、夫君とともにホノルルで5年間真言宗駐在開教師として流布に従事。

戦後、高野山大学の門戸が女子に開放されると直ちに入学し、女子卒業生として第一号の文学士の称号を受けた。

大阪樟蔭女子専門学校在学当時から吉井 勇氏に師事し、文学活動を続けた。

高野を愛し、高野の良さを守ろうとする気持は人一倍強く、その作品も高野に因んだものに限られるといっても過言ではない。

時世とともに移り変る高野山で、本当の高野の心を、伝統に生きる諸行事の記録を美しい筆にのせて残されていることはまことに貴重である。

高野山の幾春秋を、愛のまなざしで見つづけてきた氏の高野春秋がまだまだつづくことへの期待は大きい。

著書に「高野春秋」「続高野春秋」「高野ごよみ」「高野だより」「高野つれづれ」などがある。